

わたしたちの健康

加齢性(老人性)難聴

朝霞地区医師会 田部 哲也

☎(464)4666

老化現象による聞こえの低下を加齢性難聴といいます。聞こえの老化は40歳頃から始まり、ゆっくり進行します。実際には60歳代で「聞こえづらさ」を意識することが多いようです。難聴の程度には個人差があり80歳を過ぎててもよく聞こえる人もいます。

<聞こえの仕組み>

音(空気の振動)は、耳の穴を^{くみみ}通って鼓膜を振動させます。鼓膜の振動は、その奥にある^{しゅうじょうこ}耳小骨を経由して^{かみま}蝸牛に伝わります。蝸牛では振動を電気信号に変換し、電気信号は聴神経を経由して脳に伝わります。脳では信号を瞬時に処理解析して、音や言葉を理解します。

<原因>

蝸牛の老化が主原因です。蝸牛には、表面に毛の生えた有毛細胞が並んでおり、この毛が音の振動を感知します。老化で毛が脱落したり、細胞自体がなくなると、振動を電気信号に変換できなくなります。他には、蝸牛から脳への神経経路や脳自体の老化も関連します。これらの原因が合わさって難聴が発生します。

<症状>

初期には高音域から悪くなるため、ピーという電子音のようなものが聞きづらくなります。日常会話は大丈夫で、耳鳴りだけが症状という人もいます。低音域へと難聴が進むと、普通の声や物音が聞こえにくくなり、やがて大きな声でないと聞こえないという状態になります。両耳とも同じように進行するのが特徴です。

また、単に聞こえないだけでなく、大きな音が響いて不快に感じる、声は聞こえるが何を言っているかわからない(聞き取り能力の低下)といったことがよくみられます。50～60歳頃から始まり、これも加齢性難聴の特徴です。「力行、サ行、ハ行」の間違いがよく見られます(「サトウ(佐藤)」と「カトウ

(加藤)」、「シチジ(7時)」と「イチジ(1時)」など)。

難聴を放置すると日常生活で種々の支障、例えば「テレビの音量を大きくするため人と一緒に楽しめない」、「会議で重要な話を聞き逃す」、「病院などで名前を呼ばれても気付かない」、「警告音が聞こえず事故に遭う」などが生じます。また、耳から入る情報が少なくなること、電話や人との会話さらには家族と話すことすら面倒になり引きこもってしまうこと等により、認知症やうつ病につながる危険性もあります。

<検査・診断>

最近聞こえが悪いかなと思ったり、人から「聞こえが悪いのでは?」と言われたら、放置せずに耳鼻科を受診してください。診察して病気(中耳炎、耳垢など)がないかチェックします。検査は純音聴力検査(低い音から高い音まで7種の周波数で聴力を計測)を行います。状況により語音明瞭度検査(聞き取り能力の検査)を行います。

<治療>

加齢性難聴はもとに戻りません。最も効果的な対処法は、補聴器で聴力を補うことです。最近の補聴器はデジタル技術の進歩により性能が良くなっており、上手に使うと日常の不便さをかなり解消できます。検査結果をもとに、どんな補聴器が良いか、補聴器の利点と限界など、耳鼻科で相談することをおすすめします。難聴の程度によっては、身体障害者福祉法による補聴器購入補助が行われています。

<気遣い>

高齢者と話すときは、以下の点に気を遣ってください。「なるべく雑音のない場所で」、「本人の注意を会話に向けさせ」、「正面から目の高さで」、「ゆっくり・はっきりと」、「やや大きめの声で」、話してください。また、聞き取れていない場合は別の言い回しをして、理解できたことを確認しつつ話を進めてください。

7月の休日当番医

診療時間：午前10時～午後4時

当番医は変更になる場合がありますので、必ず確認してからお出かけください。この時間以外の診療は、志木消防署[☎(472)0119]へお問い合わせください。

場所	施設名	科目	電話	場所	施設名	科目	電話
3日	朝霞 青柳診療所	内・消内	(465)5077	新座 志木南口クリニック	内・外・小・消内・整外・肛・リハ	(485)6788	
10日	朝霞 ファミリータイズクリニック	小・アレ	(458)5522	志木 田口皮膚科医院	皮	(473)8889	
17日	朝霞 栗原整形外科	外・整外・皮・内・リウ	(463)2325	和光 佐々木眼科医院	眼	(467)0071	
18日	志木 西川医院	内・消内・外	(471)0074	朝霞 北朝霞整形外科	整外・内・リウ・リハ	(474)7711	
24日	朝霞 あさくらクリニック	内・消内・小	(423)8470	新座 かきの木整形外科医院	整外	(471)8800	
31日	新座 せおクリニック	消内・内・外・肛	(480)3905	和光 中川眼科	眼	(465)1144	

◆休日歯科応急診療所◆(新座市保健センター内)
午前9時～11時30分 問合せ/☎(481)2211

◆大人を対象とする救急電話相談◆ #7000
平日、土曜日 午後6時30分～10時30分
日曜日、祝休日、年末年始 午前9時～午後10時30分
ダイヤル回線、IP電話、ひかり電話の場合
☎048(824)4199

◆救急医療お問い合わせ◆(歯科案内と医療相談を除く)
埼玉県救急医療情報センター ☎048(824)4199

◆小児救急電話相談◆ #8000
月～土曜日 午後7時～翌日午前7時
日曜日、祝休日 午前7時～翌日午前7時
ダイヤル回線、IP電話、ひかり電話の場合
☎048(833)7911